

CSV 形式の CAR 5.x アカウンティング ファイル生成手順

目次

[はじめに](#)

[RexAcct スクリプトを編集して下さい](#)

[関連情報](#)

概要

アカウンティング ログファイルがカンマによって分けられる値 (CSV) 形式を反映するようにこの資料に手動で RexAcctScript を編集する方法を記述されています。

RexAcct スクリプトを編集して下さい

VerifylibRexAcctScript.so ファイルは cisco AR > スクリプト > 半径 > rex ディレクトリにあります。

注: CSV 形式を使用するためにログファイルを設定するために手動でスクリプトを編集し、リコンパイルして下さい。この手順は [REX アカウンティング スクリプト ユーザガイドの使用](#) で、第 25 章文書化されています。

アカウンティング ファイル、ナビゲートの形式を > AICar1 > 例 > rexacctscript > AcctAsScript.cpp 選択し、これらの変更を行なうために変更するため:

Line Number	From	To
2048	* (pEnd++) = "\n";	* (pEnd++) = ", ";
2037	* (pEnd++) = "\t";	* (pEnd++) = " ";

注: 引用符は (「 」) 領域がはいつています。

このようなエラーメッセージを受け取るかもしれません:

```
AcctAsScript.cpp:2080:18: error: empty character constant
```

このエラーメッセージを受け取る場合、AcctAsScript.cpp ファイルをこれと一致するストリングに関してはチェックし、評価して下さい:

```
AcctAsScript.cpp:2080:18: error: empty character constant
```

このようになるためにスクリプトを修正して下さい:

```
AcctAsScript.cpp:2080:18: error: empty character constant
```

アカウントिंग ファイル出力は今これに類似するはずです:

```
AcctAsScript.cpp:2080:18: error: empty character constant
```

見ればカンマはエントリを分けます、CSV 形式を使用するために今設定されます。

注: グループ サービスを利用するために必要となりません; **ServerIncomingScript** を通して設定される **LocalAccounting** スクリプトはアカウントング レコードを書き込み、アカウントングが要求する **DefaultAccountingService** 設定されたプロキシ。

関連情報

- [Rex アカウントング スクリプトの使用](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)